

2025 日本万国博覧会開催に向けた取組についての主なポイント

1 概要及び論点

大阪市は、昨年 11 月の戦略会議において、2025 日本万国博覧会誘致に向けて、府市共同で取り組むことや費用負担については、府と協議していくことなどを確認したところである。

このたび、副首都推進本部会議において、万博誘致の府市の取組方針や開催経費等の費用負担の考え方について確認したことから、その内容について報告し、本市として確認を行うもの。

2 経過

2016 年 11 月

- ・戦略会議において、万博誘致に取り組むことを確認
- ・大阪府・大阪市・関西経済 3 団体、関西広域連合により 2025 日本万国博覧会誘致委員会準備会を発足

2016 年 12 月

- ・2025 年国際博覧会検討会設置（国検討会）

2017 年 1 月

- ・副首都推進本部会議において、万博開催に向けた府市の取組について確認

3 万博開催に向けた取組について確認していただきたい事項

(1) 取組方針

- ・万博開催の効果、意義を踏まえ、夢洲での万博誘致・開催に向けて府市共同で取り組むこと。
- ・早期の全国組織の誘致委員会の設立に向けて府や経済界と連携して取り組むとともに、開催地決定までの誘致プロモーションや国内の機運醸成に取り組むこと。
- ・本市の万博誘致に必要な体制を構築するとともに誘致委員会事務局にも必要な人員を提供すること

(2) 開催経費等の考え方

- ・誘致委員会経費に関する自治体負担分について府市を折半を基本とすること
- ・会場建設費にかかる自治体負担分について府市折半を基本とすること。
- ・関連事業費について、万博開催のために必要となるものについては、府市折半を基本とすること。

2025日本万国博覧会開催に向けた 府市の取組について（案）

1. 現状（経過）と今後のスケジュール

- 2016年6月 「2025万博誘致基本構想検討会議」設置
- 11月 「2025日本万国博覧会」基本構想案を策定、国へ提出
- 12月 2025年国際博覧会検討会（国検討会）設置、第1回開催
2～3月までに第2回、第3回開催
- 2017年2月 2025日本万国博覧会誘致委員会（官民共同誘致組織）設立
- 3～4月頃 閣議了解予定
- 4～5月頃 BIE（博覧会国際事務局）へ政府から登録申請予定
2017年5月22日が期限
- 6月 BIE総会（プレゼン実施）
- 11月 BIE総会（プレゼン実施）
- 2018年1月頃 BIEの現地調査
- 6月 BIE総会（プレゼン実施）
- 11月 BIE総会で開催地決定予定

2. 府市における取組

基本方針

2025日本万国博覧会の開催は、インバウンドのさらなる増加や健康関連産業を中心とした新たな産業の創出、ベイエリアのまちづくりへの投資促進など、大阪・関西の経済発展に大きな効果がある。

こうした万博開催の意義を踏まえ、大阪府と大阪市は、夢洲での万博誘致・開催に向けて、共同で取り組む。

(1) 誘致委員会

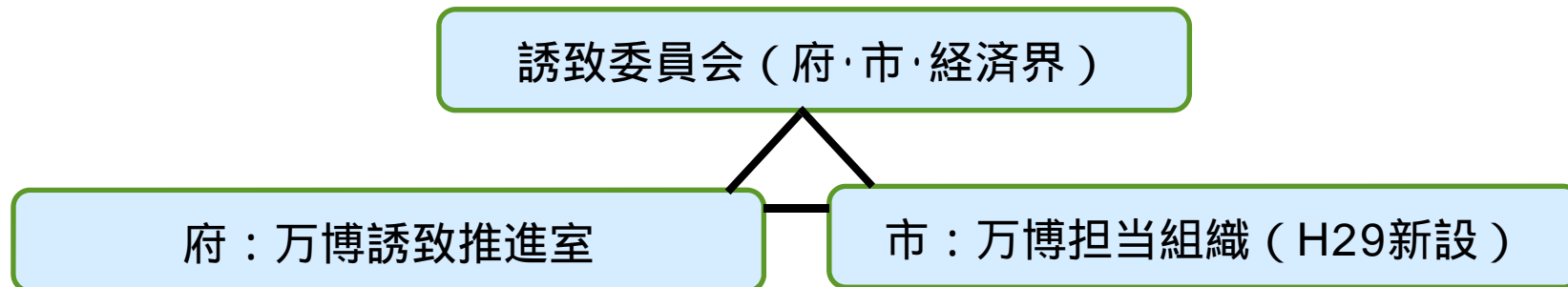
2月中の設立をめざし、府市は経済界と連携して取り組む。

併せて、2018年のBIE総会における開催地決定までの間、誘致自治体として、国、経済界と連携し、海外誘致プロモーションや国内の機運醸成に取り組む。

(2) 府市の誘致体制

府市それぞれが万博誘致に必要な体制を構築するとともに、誘致委員会事務局にも府市それぞれが必要な人員を提供する。

誘致決定後の体制については別途協議するものとする。



(3) 開催経費等の考え方

項目	内容	考え方
誘致委員会経費	<ul style="list-style-type: none"> ・BIE加盟国に対するプロモーション ・BIE総会でのプレゼン ・BIE事務局による現地調査への対応 ・BIE加盟国による視察への対応 など <p>万博誘致を国民運動として盛り上げる機運の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム開催 ・ロゴマーク・HP作成、啓発物購入 など 	<p><u>地方自治体としての負担分については、府市折半を基本とする。</u></p>
会場建設費	<p>「2025日本万国博覧会」基本構想案に記載している項目 (基盤整備費・基盤設備整備費・輸送関係費・パビリオン建設費など)</p>	<p><u>地元自治体としての負担分については、府市折半を基本とする。</u></p>
関連事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄中央線の延伸 (北港テクノポート線) ・道路改良等 (此花大橋・夢舞大橋拡張等) ・地下鉄輸送力増強 ・南エリア30ha埋立ての追加工事 ・1区利活用に要する経費 	<p><u>関連事業費には、夢洲まちづくりに係る事業と万博関連事業がある。このうち、万博開催のために必要となるものについては、府市折半を基本とする。</u></p> <p><u>なお、夢洲におけるIRを含む国際観光拠点形成の進捗状況に応じ、別途整理の上、民間事業者に負担を求めることを含め、府市で協議するものとする。</u></p>

参 考

開催経費等の事業費内訳（大阪市作成）

項目	内容	事業費
誘致委員会経費	<ul style="list-style-type: none"> ・BIE加盟国に対するプロモーション ・BIE総会でのプレゼン ・BIE事務局による現地調査への対応 ・BIE加盟国による視察への対応 など 万博誘致を国民運動として盛り上げる機運の醸成 ・シンポジウム開催 ・ロゴマーク・HP作成、啓発物購入 など 	3億円
会場建設費	<p>「2025日本万国博覧会」基本構想案に記載している項目 （基盤整備費・基盤設備整備費・輸送関係費・パビリオン建設費など）</p>	<p>1,200～1,300億円</p> <p>（「2025日本万国博覧会」基本構想案 より）</p>
関連事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄中央線の延伸（北港テクノポート線） ・道路改良等（此花大橋・夢舞大橋拡張等） ・地下鉄輸送力増強 ・南エリア30ha埋立ての追加工事 ・1区利活用に要する経費 	<ul style="list-style-type: none"> ・540億円 ・40億円 ・100億円 ・50億円 ・要精査 <p>（「2025日本万国博覧会」基本構想案 より）</p>